

地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第12回）の審議要旨

- 1 日 時 平成25年7月30日（火） 13:00～14:40
- 2 場 所 山口県産業技術センター 会議室
- 3 出席者 三浦房紀委員長、上田文雄委員、魚谷礼子委員、加登田恵子委員、正木圭子委員

（委員会の内容）

I 報告

第11回審議要旨について

→資料1により、事務局から前回の審議要旨を説明

〈各委員了承〉

II 議題

- ① 法人の平成24年度における業務の実績に関する評価について

→ 資料2により、事務局から説明

〈質疑等なし、各委員了承・評価書の決定〉

- ② 法人の平成24年度に係る財務諸表等について

→ 資料3により、事務局から説明

〈質疑等なし、各委員了承・財務諸表等の承認〉

- ③ 第2期中期目標及び中期計画の策定について

→ 資料4、参考資料により、事務局から説明

〈質疑等なし、各委員了承〉

- ④ 第2期中期目標（素案）について

→ 資料5、資料6により、事務局から説明

〈資料説明後、質疑応答・意見交換〉◆委員長 ●委員 □事務局 ○センター

- ◆ 地震等の大規模災害への備えは非常に重要なので、BCP（事業継続計画）の策定・普及にしっかり取り組んで欲しい。

- センター自らがBCPを策定するとともに、関係機関と連携しながら県内企業への普及啓発に努めたい。

- 自然災害への備えも重要であるが、コンビナート事故等の産業災害を防止するには、人材育成が重要である。

- ◆ 県内企業への学生の就職を促進するなど、県内企業の力を高めるためには、大学と連携した取組が重要である。

- 産業構造が大きく変わる中、企業の新事業展開をどう支援していくかが重要である。

- 医療関連産業は、県内企業が取り組みやすい分野である介護や福祉等を含めて考えるべきである。
- 県内企業の新事業展開を支援するため、医療・介護・福祉に関する技術戦略ロードマップを策定したいと考えている。
- 県内中小企業にとって医療分野はハードルが高いかもしれないが、1次産業が抱える課題の解決なら取り組みやすいかもしれない。
- 県内中小企業が今後どのような分野に取り組んだらいいのかが分かるよう、中期計画の中でもっと具体的に記載して欲しい。
- ◆ 第2期中期目標（素案）については継続審議とし、次回の評価委員会で再度検討したい。

《各委員了承》